

大豆情報

(第2号)

平成 28 年 5 月 10 日
あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

～ 収量向上により、数量払交付金でしっかり所得を確保しましょう ～

- 必ず「クルーザーMAXX」による種子消毒をしましょう。
- 耕起、施肥、播種、除草の一連の作業は1日で終わらしましょう。
- 湿害を防ぐため、額縁排水の手直し、排水口への連結をしましょう。

1. 病害虫防除 「クルーザーMAXX」による種子消毒で初期病害虫をシャットアウト！

薬剤名	処理法	対象病害虫等
クルーザーMAXX	種子 1kg 当たり 8ml 塗抹	アブラムシ類、タネバエ、ネキリムシ類、フタスジヒメハムシ 茎疫病、リゾクトニア根腐病、苗立枯病、紫斑病

※クルーザーMAXX塗抹時にタルクを使用（種子1kg当たり8g）することで、播種精度が向上します。
(使用方法等はJAにお問い合わせください。)

2. 播種の準備と目安 ～栽植本数をしっかり確保し、収量アップにつなげましょう～

- ① 品種や播種時期に応じて、適正な播種量になるよう播種機の目皿やスプロケットを調整しましょう。
- ② 播種作業の速度が早いと欠株がでやすいので、ゆっくり歩く程度の早さ(0.5m/秒)で行い、播種深度3cmを確認しましょう。

今年の種子も、粒が大きいのので播種量に注意しましょう！

<播種時期別の大豆播種量> (1株2粒播きの場合)

品種	播種時期	条間 (cm)	播種粒数 (粒/m)	栽植本数 (本/10a)	播種量 (kg/10a)
エンレイ	5月25日頃～6月上旬	80	12～14	14,000～16,000	5.1～5.9
	6月中旬		14～17	16,000～18,000	5.9～6.6
シュウレイ	5月25日頃～6月上旬	80	11～13	12,000～15,000	4.9～6.1
	6月中旬		13～17	15,000～18,000	6.1～7.3
オオツル	6月上旬	80	9～11	10,000～12,000	4.6～5.5
	6月中旬		11～12	12,000～14,000	5.5～6.4

<基肥> (10a 当たり)

資材名	施肥方法	一般田	復元田	麦跡
BB088	側条施肥	20kg	30kg	40kg
	全層施肥	24kg	36kg	48kg

<除草剤> (10a 当たり)

除草剤名	適用雑草	使用時期	使用方法	散布量
ラクサー粒剤	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	全面土壌散布	4～6kg
ラクサー乳剤	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	全面土壌散布	100ℓ (400～600ml を水 100ℓ に希釈)

3. 播種後の管理 ～ 生育量を確保するために排水対策をしましょう ～

出芽期に湿害にあうと生育量、収量の低減に大きく影響するので、播種後は排水溝の点検、手直しと排水口への連結を確実にやり初期の排水対策に努めましょう！！

とやま GAP (富山県適正農業規範) に基づき、安全に作業しましょう。

大豆情報第3号の発行日は5月27日(予定)